おいしさ、けんこう、
つぎつぎ、わくわく。

フジッコ

2021年3月期
決算説明会資料
（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年5月26日

フジッコ株式会社（2908）

https://www.fujicco.co.jp/

2020年度の経営業績と
2021年度に向けて

コロナ禍で売上重視から、利益志向に転換

① “ニュー・フジッコ”の創造。
経営品質の向上。

② 株主をより重視する資本政策に。

③ コーポレート・ガバナンスの強化。

© FUJICCO Co., Ltd.

“ニュー・フジッコ”の創造

生産性の高い
経営品質の優れた
社員が働き甲斐のある

強靭な会社づくり

© FUJICCO Co., Ltd.

経営品質の向上を第一として
利益優先の取り組みを進める

① 惣菜製品の利益率を改善する

② 昆布佃煮・煮豆の「スター商品」化とSKUの整理

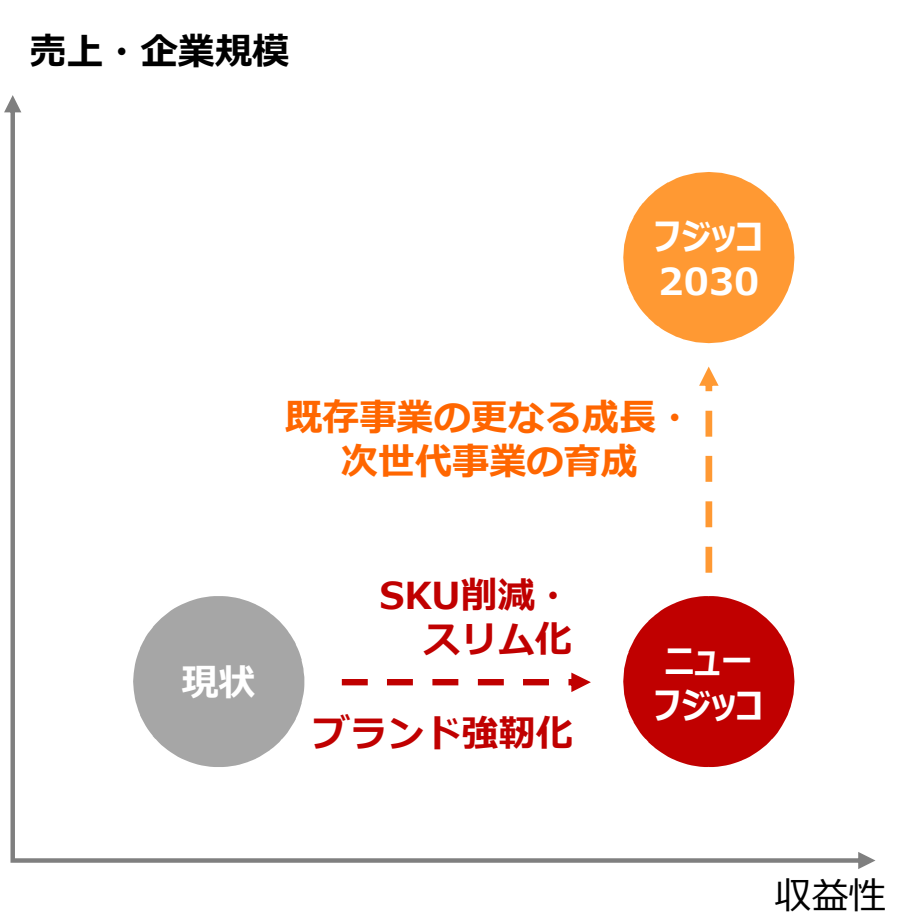
③ ヨーグルト好調、大豆ヨーグルト・Yoplait(ヨープレイト)はこれから

© FUJICCO Co., Ltd.

成長ステップを踏まえ“選択と集中”

“選択と集中”でブランドの強靭化から 未来志向の次世代事業に拡大投入へ

成長ステップのイメージ



製品群
- 強いブランドをより強く
- 下位製品の整理と上位商品拡大策の実施
- 次期新商品の開発強化

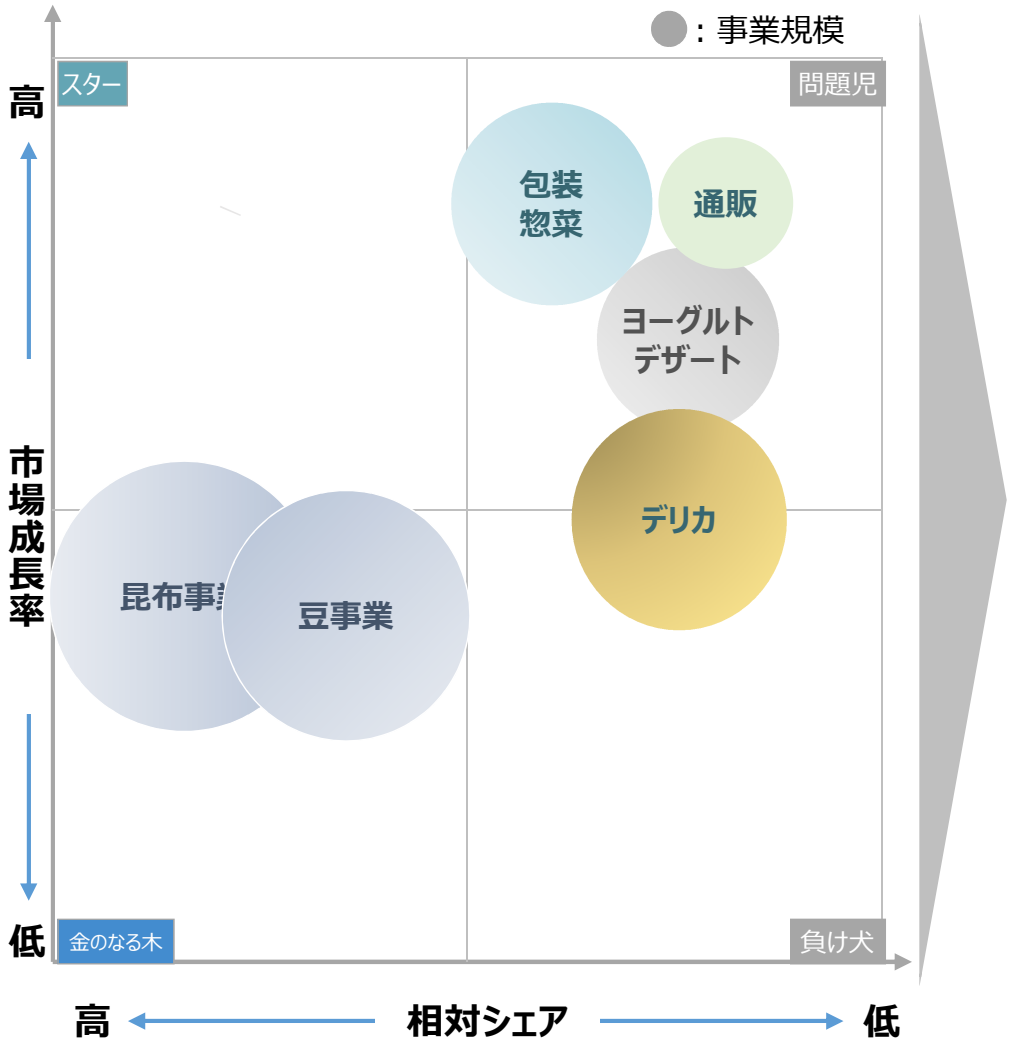
チャネル
- スーパーの棚シェア拡大
- EC・宅配／生協の参入・強化
- DtoC市場への参入

新事業開発
- ダイズライス事業　新ステージへ
- インドネシア事業本格化

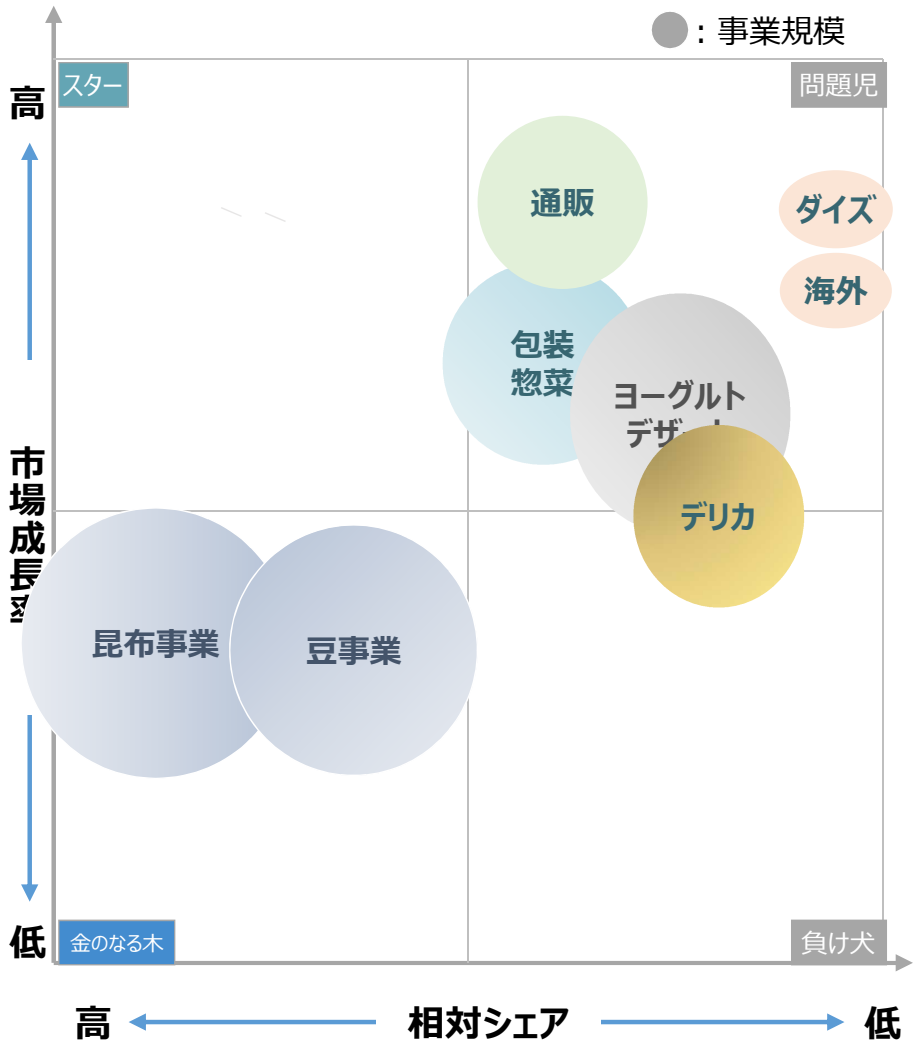
© FUJICCO Co., Ltd.

事業ポートフォリオ　～　「スター」づくりの準備　～

2020年度



2021年度



© FUJICCO Co., Ltd.

次代の豆製品　Beanüs　の挑戦

豆を通じて理想の体づくりや
健康的な食生活をサポート

© FUJICCO Co., Ltd.

大豆ヨーグルトの育成

TVCM

近畿圏・中部：2021年5月10日～5月31日
首都圏　　：2021年6月1日～6月20日

© FUJICCO Co., Ltd.

「大豆で作ったヨーグルト」TVCM

免疫力向上意識の高まり

TVCM

エリア　：東北、信越、中国、九州
放映期間：2021年5月1日～5月20日

「カスピ海ヨーグルト」TVCM

“ニュー・フジッコ”の取り組み成果

① 関東工場　新工場棟竣工

② 東京FFセンター新築

③ 有休資産の売却、資本の効率化

④ 業務効率化、FCR運動の全社展開

⑤ 働き方改革、残業ゼロの取り組み

⑥ 生産性改善の加速、人件費コントロール

© FUJICCO Co., Ltd.

①　関東工場　新工場棟竣工

生産ラインの統合を加速し、
豆製品の再成長と生産性向上に挑む

2021年3月竣工　投資総額55億円

② 東京FFセンター新築 ～ 2021年4月5日開設 ～

“５つの健康“を実現するオフィス

おいしさ、けんこう、
つぎつぎ、わくわく。
フジッコ

1. 健全経営
会社・株主へ

生産性向上

働きやすい環境

BCP

2. 健康経営
従業者へ

働き方改革

女性活躍　禁煙

バリアフリー

3. 健康提供
お客様へ

美味しさ追求

おいしい提案

食育

4. 健康社会
社会(国・地域)へ

地域交流

イベント

5. 地球健康
地球へ

SDGs・環境

ZEB

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

© FUJICCO Co., Ltd.

3本柱

ブランド価値の強靭化

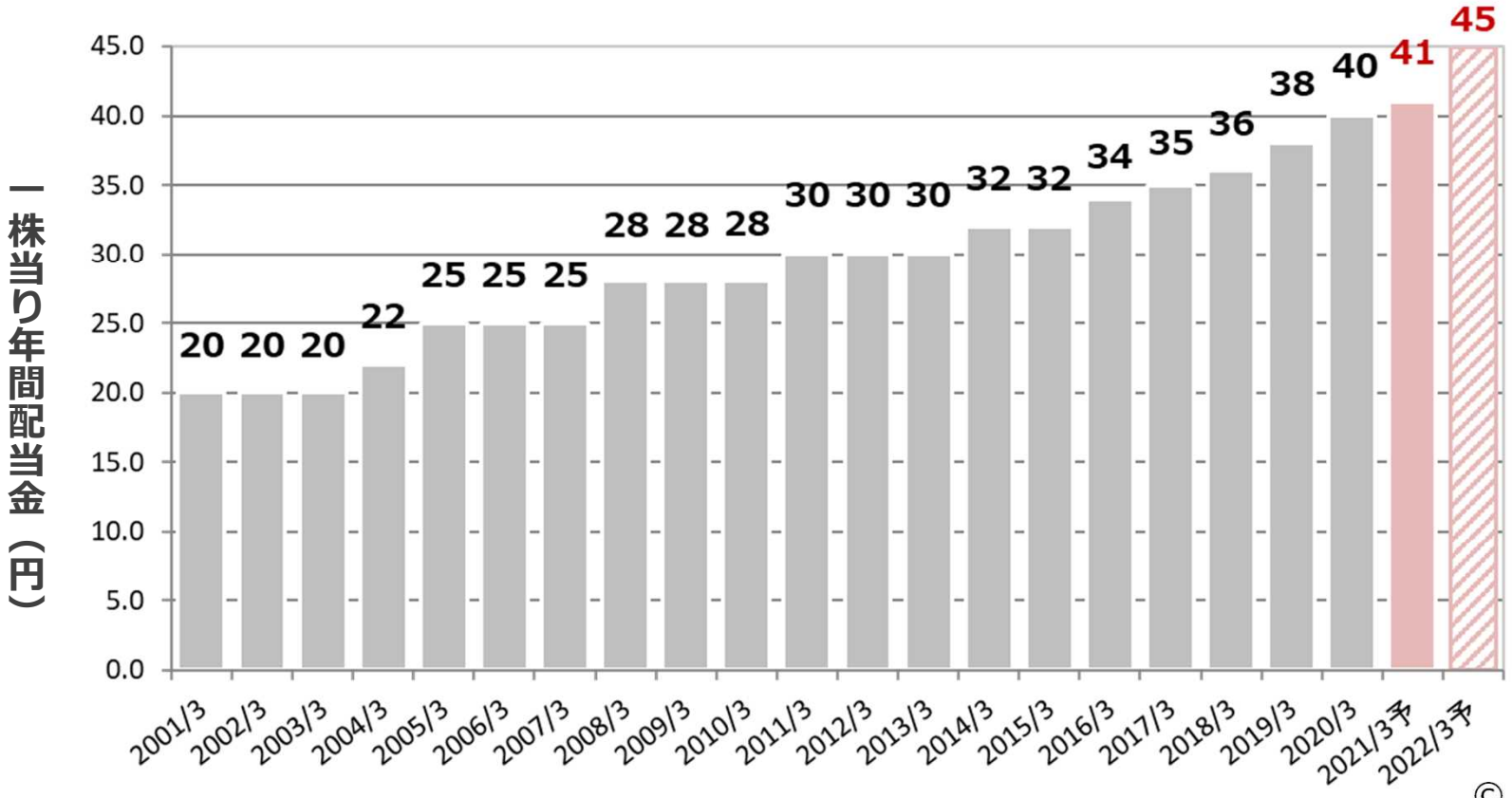
生産性向上

働き方改革

© FUJICCO Co., Ltd.

株主をより意識した経営に転換します

① '21/3期：年間41円（1円増配）
② '22/3期：年間45円（4円増配）
③ 配当性向40%を目標とする



© FUJICCO Co., Ltd.

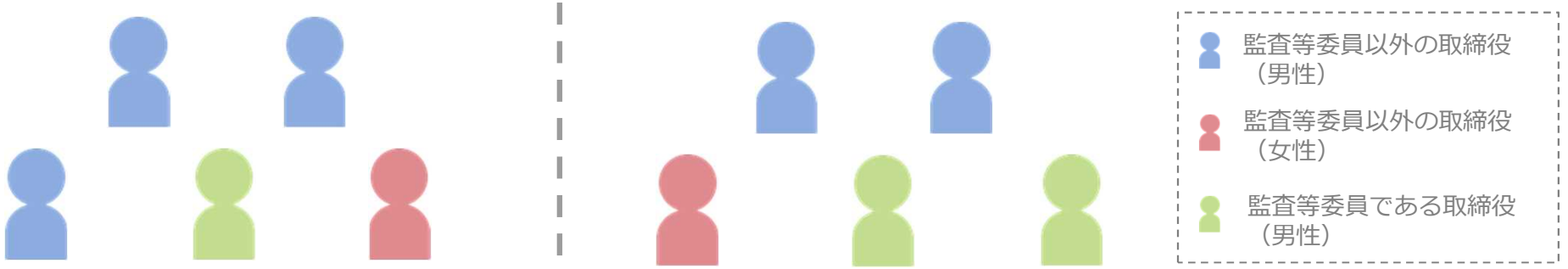
取締役会の多様性と実効性向上

社外取締役の増員（独立社外比率50%）
女性取締役２名の登用

【2021年6月23日からの新体制（予定）】

<社内取締役> 5 名

<社外取締役> 5 名



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
総員数	**13**	**10**	**10**	**9**	**10**	**10**
監査等委員以外	10	7	7	6	7	7
監査等委員	3	3	3	3	3	3
独立社外取締役（比率）	**3**（23%）	**3**（30%）	**3**（30%）	**3**（33%）	**4**（40%）	**5**（50%）
女性取締役	**－**	**－**	**－**	**－**	**－**	**2**

2020年度決算の概要と
2021年度業績の見通し

2020年度決算の概要

連結損益計算書（前期比）

	2020/3期		2021/3期		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	66,171	100.0	64,204	100.0	△1,966
売上原価	39,691	60.0	37,891	59.0	△1,799
売上総利益	26,480	40.0	26,313	41.0	△167
販売費及び一般管理費	21,991	33.2	21,995	34.3	4
営業利益	4,489	6.8	4,317	6.7	△171
営業外損益	349	0.5	393	0.6	44
経常利益	4,838	7.3	4,711	7.3	△127
特別損益	△16	△0.0	8	0.0	25
税引前利益	4,821	7.3	4,720	7.4	△101
当期純利益	3,100	4.7	3,405	5.3	304
1株当り純利益 [潜在株式調整後]	103円58銭 [103円53銭]		113円70銭 [－]		10円12銭 [－]

※　当期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益になります。

© FUJICCO Co., Ltd.

本決算ハイライト

売上高は減収、
営業利益、経常利益いずれも減益、当期純利益は増益

◎売上高は1,966百万円の減収
◎売上原価率は59.0%、前期より1.0ﾎﾟｲﾝﾄの改善
◎販管費率は34.3%、前期より1.1ﾎﾟｲﾝﾄの悪化
◎その結果、営業利益は171百万円の減益、
営業利益率は6.7%と前期より0.1ﾎﾟｲﾝﾄの悪化
◎経常利益は127百万円の減益
◎当期純利益は304百万円の増益
税効果会計の影響による
◎1株当り当期純利益は113円70銭、前期より10円12銭の増加

© FUJICCO Co., Ltd.

四半期会計期間の売上・営業利益の増減推移（前期比）

（単位：百万円）		売上高	営業利益	営業利益率
第１Ｑ（４－６月）	前第１Ｑ	15,563	936	6.0%
	実績	15,487	958	6.2%
	増減	△75	+22	–
	前同四半期比	99.5%	102.4%	–
第２Ｑ（７－９月）	前第２Ｑ	16,243	1,036	6.4%
	実績	16,008	1,218	7.6%
	増減	△235	+182	–
	前同四半期比	98.5%	117.6%	–
第３Ｑ（10－12月）	前期第３Ｑ	18,670	1,669	8.9%
	実績	17,897	1,514	8.5%
	増減	△773	△154	–
	前同四半期比	95.9%	90.7%	–
第４Ｑ（１－３月）	前期第４Ｑ	15,693	847	5.4%
	実績	14,811	625	4.2%
	増減	△881	△221	–
	前同四半期比	94.4%	73.9%	–

© FUJICCO Co., Ltd.

連結製品分類別売上高

（百万円）	前期実績	構成比%	当期実績	構成比%	前期差	前期比%
惣菜製品	22,684	34.3	21,732	33.9	△952	95.8
昆布製品	18,060	27.3	17,342	27.0	△717	96.0
豆製品	13,767	20.8	13,085	20.4	△681	95.1
ヨーグルト製品	6,907	10.4	7,465	11.6	558	108.1
デザート製品	3,165	4.8	2,785	4.3	△380	88.0
その他製品	1,586	2.4	1,793	2.8	206	113.0
合計	66,171	100.0	64,204	100.0	△1,966	97.0

【総括】

ヨーグルト製品が前期より上回ったが、

惣菜製品、昆布製品、豆製品、デザート製品が下回ったことから、全体では1,966百万円下回った

【増加要因に対するコメント】

ヨーグルト製品では、「カスピ海ヨーグルト」の伸長、「大豆ヨーグルト」がプラスオン（300百万円）

【減少要因に対するコメント】

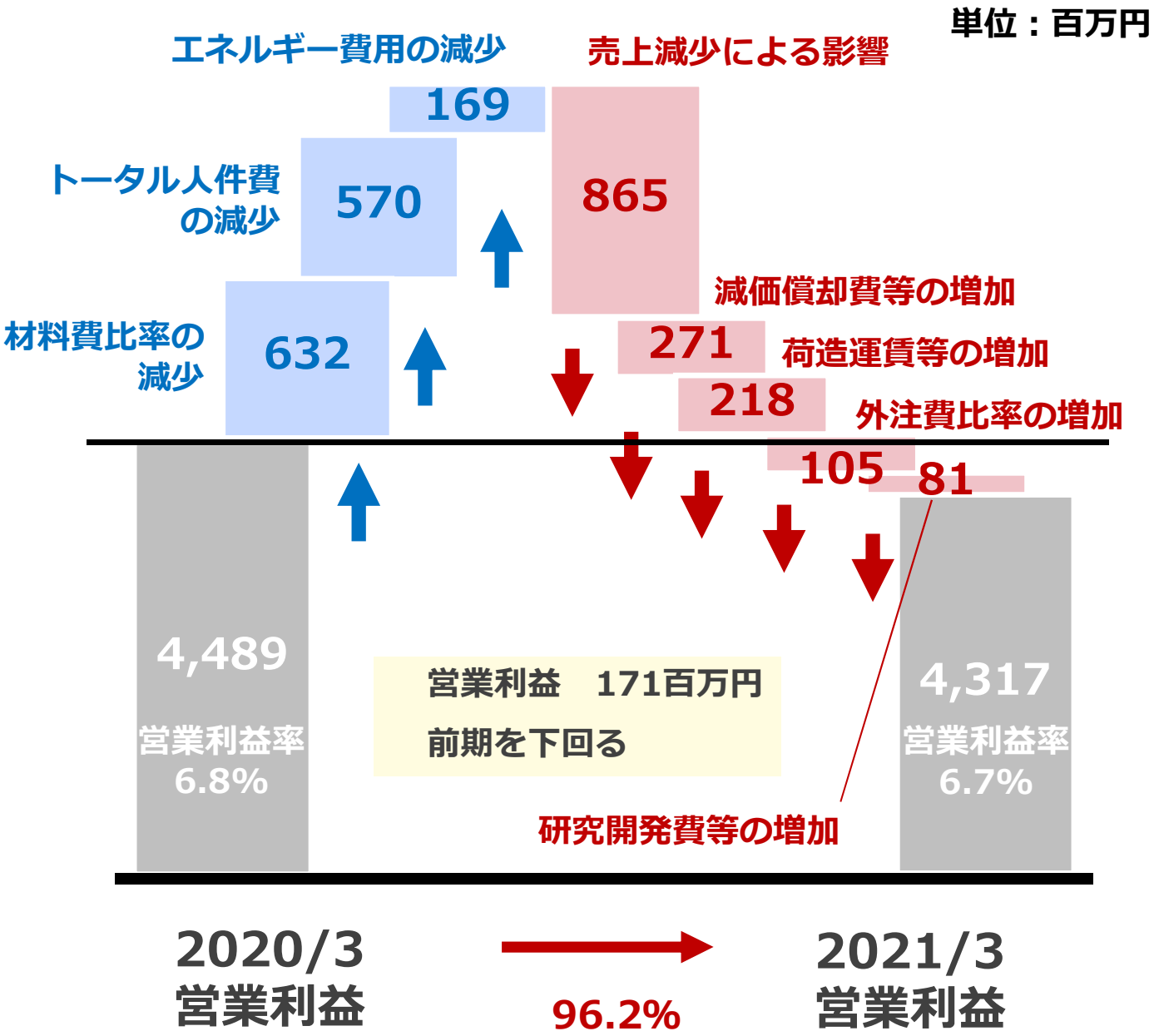
昆布製品では、塩こんぶ、佃煮、とろろ昆布ともに前年割れ

豆製品では、水煮・蒸し豆、煮豆ともに前年割れ

惣菜製品では、フーズパレット社の売上が加わるも、日配惣菜が大きく前年割れ

© FUJICCO Co., Ltd.

営業利益の増減要因分析（前期比）



【総括】

■売上高は大きく減収、営業利益も減益となった。

■減価償却費、荷造運賃、外注費、研究開発費等は増加した。

■日配惣菜、フーズパレットの販売不振、「おかず畑ミニ」の終売等による野菜原料の使用量が減少し材料費比率が減少、重油価格の値下がりによりエネルギー費用等が減少した。

■トータル人件費は減収による製造人件費の減少。特に、日配惣菜の売上減少が大きかった。

© FUJICCO Co., Ltd.

2021年度業績の見通し

連結製品分類別売上高（新基準）

（単位：百万円）	2021/3 実績	構成比 %	2022/3 予想	構成比 %	前期差	設定率 %
惣菜製品	20,081	35.0	19,551	34.9	△529	97.4
昆布製品	14,799	25.8	14,205	25.4	△594	96.0
豆製品	11,413	19.9	10,613	19.0	△799	93.0
ヨーグルト製品	6,997	12.2	7,512	13.4	514	107.4
デザート製品	2,259	3.9	2,232	4.0	△27	98.8
その他製品	1,786	3.1	1,884	3.4	98	105.5
合計	57,338	100.0	56,000	100.0	△1,338	97.7

取り組み方針

惣菜製品　：「おばんざい小鉢」の販売拡大、日配惣菜の収益性向上

昆布製品　：「ふじっ子煮」発売50周年、塩こんぶのブランド再構築

豆製品　：関東工場新棟の成功、「おまめさん」ブランドの認知度向上

ヨーグルト製品　：「大豆で作ったヨーグルト」の拡販、「Yoplait」販売エリア拡大

デザート製品　：期間限定商品の投入

© FUJICCO Co., Ltd.

連結業績予想（新基準）

	2021/3期		2022/3期予想		増減額
	百万円	%	百万円	%	
売上高	57,338	100.0	56,000	100.0	△1,338
売上原価	37,891	66.1	36,500	65.2	△1,391
売上総利益	19,446	33.9	19,500	34.8	53
販売費及び一般管理費	15,128	26.4	15,000	26.8	△128
営業利益	4,317	7.5	4,500	8.0	182
営業外損益	393	0.7	300	0.5	△93
経常利益	4,711	8.2	4,800	8.6	88
特別損益	8	0.0	–	–	△8
税引前利益	4,720	8.2	4,800	8.6	79
当期純利益*	3,405	5.9	3,300	5.9	△105
1株当り当期純利益	113円70銭		110円16銭		△3円54銭

1株当り配当金	41円**（中間20円）	45円（中間22円）	4円

*　当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。 **　年間配当金41円のうち、期末配当金21円は予想。

© FUJICCO Co., Ltd.

連結業績予想（従来基準との比較）

	2021/3期 実績		2021/3期 会計基準適用後		2022/3期 予想		増減率** %
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
売上高*	64,204	100.0	57,338	100.0	56,000	100.0	△2.3
営業利益	4,317	6.7	4,317	7.5	4,500	8.0	4.2
経常利益	4,711	7.3	4,711	8.2	4,800	8.6	1.9
当期純利益***	3,405	5.3	3,405	5.9	3,300	5.9	△3.1

* 2021/3期の売上高は、これまでの計上基準と比較して6,866百万円の減少となります。

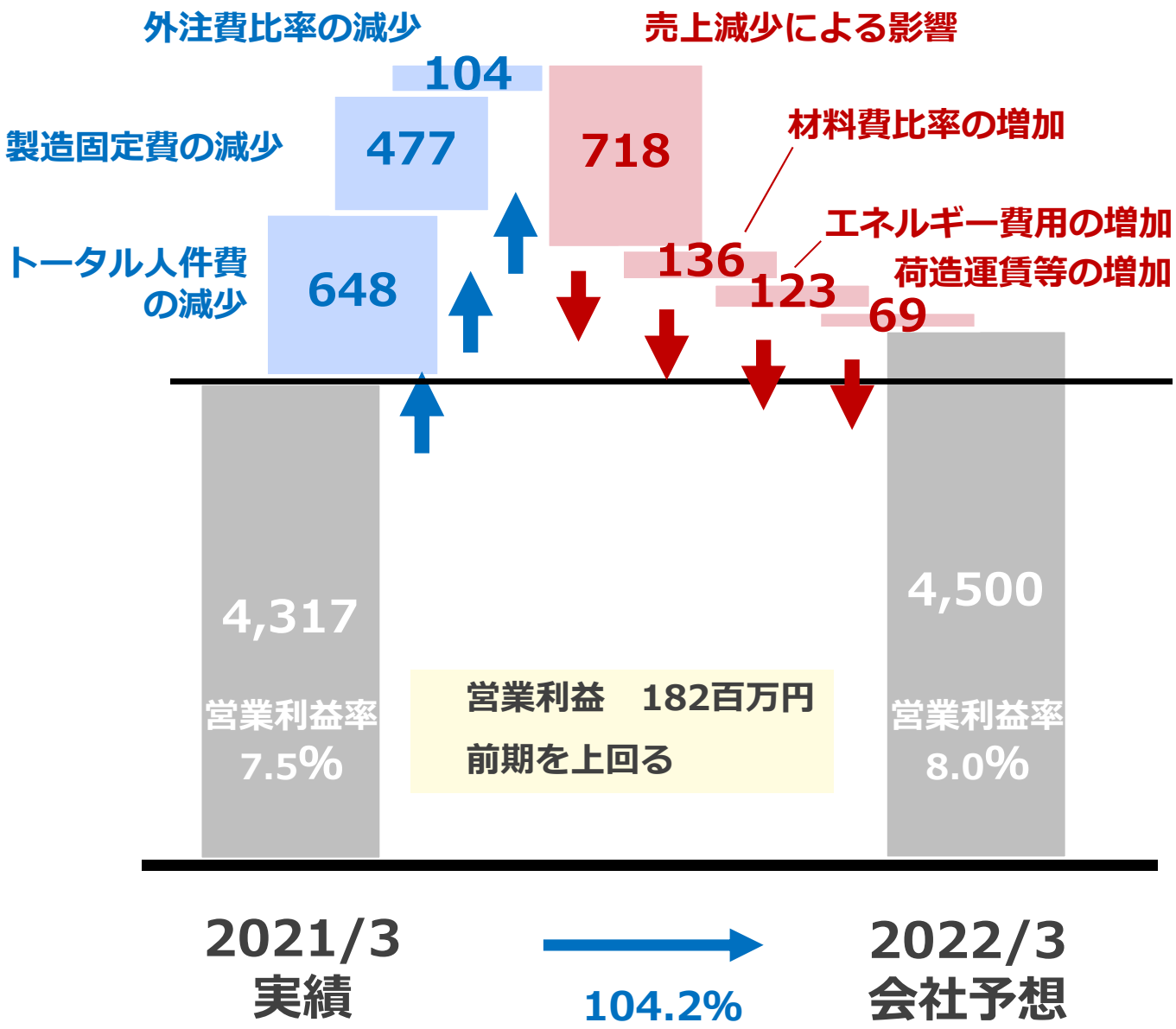
** 増減率は、2022/3期予想値と会計基準適用後の2021/3期との比較で算出しております。

*** 当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益。

© FUJICCO Co., Ltd.

営業利益の増減要因分析（新基準）

単位：百万円



【ポイント】

① 「スター商品」の拡販

② FCR運動の推進

- 残業ゼロの取り組み
- 生産性向上

③ 販管費率の改善

- 販売経費の総枠管理
- トータル物流費の低減

© FUJICCO Co., Ltd.

連結設備投資の状況

設備投資額の推移

（百万円）	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3	2022/3 計画
設備投資額	3,513	7,268	3,638	5,656	8,232	4,500

2022/3期　設備投資計画

単位：百万円

投資区分	計画金額
成長投資	1,300
合理化投資	1,300
更新投資	1,900
合計	4,500

© FUJICCO Co., Ltd.

この資料には、当社の現在の業績見通しなどが含まれております。それら将来の予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの予想などとは異なる場合があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではございません。

～　お問合せ先　～

経営企画部　尾西・小松まで

ＴＥＬ　078-303-5921

ＦＡＸ　078-303-5949

© FUJICCO Co., Ltd.